

議事録

会議名：第18回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2004年12月11日PM2時04分より
- 場所：広島県立総合体育館・地下1F・中会議室
- 構成員：35名
- 参加者：産賀敏彦、湯村正仁、木谷直俊、渡辺道徳、橋本健蔵、小倉 肇、森 正典、榎 康守、草間益良夫、石井博貞、境 英俊、竹内善一、香川直己、森山慎一、緒方香織、西野剣樹、佐々木 史、川尻雄洋、川筋雄作、高橋経範、佐々木梨華、山下真季、竹澤竜平、香川尚美
(以下委任状により出席と見做す)高澤貞三、三浦利雅、大元輝民、木原資裕、山神眞一、作下隆明、正宗良朗、松村英和以上32名、欠席者：白川哲生、中川駿一郎、松永俊大以上3名
オブザーバーとして、腰山静雄、村井慎治、谷口直和
上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。
慣例に倣い会長の産賀敏彦を議長として議事が進められた。

- 記 録

氏名：西野剣樹

E-mail：information@tyushi.com (不明点はこちらへ)

Summary：

- 議題1：第17回理事会議事録確認
- 議題2：幹事会報告（学生役員改選の報告）
- 議題3：平成16年度決算報告並びに平成17年度予算案について
- 議題4：全日理事会・常任理事会報告
- 議題5：平成17年度大会について（日程及び審判長）
- 議題6：剣友会（中四学連剣友剣道大会）の報告
- 議題7：その他



議事

議事に先立ち、去る平成16年10月22日中四国学生剣道連盟元常任理事の大塚忠義先輩がご逝去され、全員で黙祷をし、哀悼の意を表した。

1. 第17回理事会議事録確認

第17回理事会議事録を異議なく承認した。

2. 幹事会報告（学生役員改選の報告）

報告者：森山慎一

- (1) 11月3日に学生役員の選出、及びに学生理事の選出を行った。
広島大学・森山慎一が幹事長に選任され就任した。他の役員は別紙のとおり、選任され、就任した。
- (2) 平成17年度の優勝大会について。
川崎学園総合体育館と川崎医療福祉大学体育館の2会場で、なるべく会場間の移動の無い方向で試合方法等を幹事会で討議している。5月ぐらいには結論を出す方針。

3. 平成16年度決算報告並びに平成17年度予算案について

報告者：石井博貞

- (1) この会に決算・予算案の報告を予定していたが、間に合わなかったとの報告があった。次回に報告することとした。
- (2) リーゼミも来年度から一つの事業とすることから予算を組むことにする。
予算案については木原、榊、香川と打ち合わせを予定する。

4. 全日理事会・常任理事会報告

報告者：谷口直和

報告者：草間益良夫

- (1) 審判員の名簿作成について。
各地域連盟から審判員の名簿を提出することとなる。
全日の審判員については段位が7段以上とすることとなった。
(年齢は7段が35～60歳まで、8段は65歳まで。)
- (2) 第52回全日本優勝大会について。
全日本剣道連盟に優勝盾を申請するが却下される。10月30日の理事会で片岡先輩が確認し、第3回常任理事会で議題とする。
これに対して、全剣連は第52回全日本学生剣道選手権大会の試合、審判内容を見て反省すべき点があると判断する。学連からの申請には当然反省点と改善策が出されると思っていたが、例年の申請しかなかったために討議の結果却下

された。

このことから、学連は改善策をまとめ地域連盟を通じて各大学に改善案を徹底させることにした。

改善案としては、

① 入場行進の際には手拍子をしない。

② 試合前の円陣は組まないことにする。 の以上2点である。

(3) 有功賞について。

各地域連盟から選出されたものを全日学連で1, 2名に絞ったうえで全剣連に提出する。今後中四連盟から選出された場合、何年か見たうえで提出する。年齢が70歳を超えて中四連盟に功績のある人とする。ただし、各県連で表彰された場合には除外とする。

(4) 審判員の心得。

昨年の全日選手権大会、岡山での中四国優勝大会の反省より、反則に関しては厳しく取っていくこととする。

主審が反則などに気づいていない場合、副審が“やめ”をかけ合議をかけることもルール上問題はない。

今後見苦しい試合をなくすために審判長に申し入れを行い、審判全員に周知してもらおう。

5. 平成17年度の大会について

報告者：石井博貞

報告者：森 正典

(1) リーダーセミナーは平成17年3月12日(土)～3月14日(月)に開催

選手権大会 平成17年5月15日 高松市総合体育館

優勝大会は宿泊場所の都合から8月28日に日程変更となった。

(2) 新人戦は平成17年12月11日に行う。(後日12月4日に変更となる)

(3) 高松の選手権大会の審判長には橋本健蔵を予定する。

(4) 松山での中四学連剣友剣道大会を平成17年11月下旬、12月上旬で調整する。

6. 剣友会（中四学連剣友剣道大会、全日本学連剣友会理事会）の報告

報告者：村井慎治

報告者：湯村正仁

(1) 11月27, 28日に合同稽古会（約200名）、大会（100チーム300名）を行った。

(2) 第2回全日本学連剣友剣道大会（平成17年3月27日大阪市中央体育館）

青年男子の部には、筑波大学、鹿屋体育大学、日本体育大学、広島大学、福山大学、岡山大学が参加予定。

熟年の部には、岡山大学、鳥取大学、山口大学が参加予定。

女子の部には、筑波大学、鹿屋体育大学、日本体育大学、広島大学、高知大学、島根大学が参加予定。

以上のようになっていたが、補欠として青年の部には松山大学、熟年の部には

松山大学。更に、四国、愛媛から1チーム、女子の部には中四選抜の1チームを補欠として参加する予定。

- (3) 理事会で顧問に高澤貞三先輩、会長推薦理事に森 正典先輩が就任した。
- (4) 第7回大会を松山。第8回大会を岡山。第9回大会を高松で開催。
- (5) 前夜祭（115名参加）で吉田正麿先輩の米寿、河田清実先輩（徳島県）の八段昇段の祝いも併せて行った。
- (6) 男子決勝が筑波大学同士となったが、代表戦が剣道の見本となるような試合であったことが報告された。

8. その他

- (1) 中四の審判登録を促進する旨、依頼があった。平成17年度に大規模な調査を行う予定。

以上の議事を終え、本会は午後14時59分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 16 年 12 月 11 日

中四国学生剣道連盟 第18回理事会

署 名 人 森 正 典

署 名 人 香 川 直 己



次回 MTG

日 時：2005年5月14日

場 所：高松市総合体育館・第1競技場・第7会議室

以上